

仏教の未来に挑戦する情報誌

# フリースタイルな 僧侶たちの フリースタイル

2011/10・11

Vol.13

Japan

since 2009.8



## Special

安泰寺住職 ネルケ無方師

「生かされる自由」

## Column

フリースタイルな行者の

「精進生活」

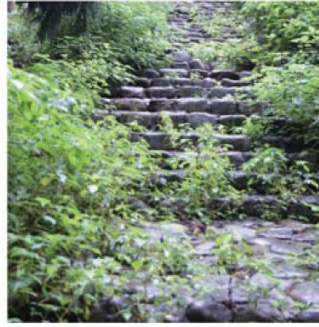
朝一坐禅レポート!・イベントインフォ ETC

<http://freemonk.net>

# 「生かされる自由」

安泰寺住職  
ネルケ無方師





自由でありたい、何ものにも縛られたくない—そんな想いを「無方」という名に込めた青い目の禅僧は、僧堂での過酷な修行やホームレス生活を経た後、檀家を持たない安泰寺で自給自足の生活を営んでいる。ネルケ無方師である。ドイツで生まれ、ルター派の牧師を祖父に持つ彼は、なぜキリスト教ではなく仏教に魅かれたのか。

私が7歳の時に母が亡くなって以降、どうせ人間は死にゆくのに何のために生きているのか、若いうちに自殺した方が効率的で退屈な時間を過ごさずに済むんじゃないか、という疑問にさいなまれました。それに対するキリスト教の答えを私は見いだせなかつたんですね。キリスト教は自分と同じくらい隣人や敵を愛することを力強く説いているんですけども、そもそもこの私がなぜ生きなければならぬのか、そこは説いていない。しかし釈尊はそこから出発しているんですね。仏教の場合ももちろん生きとし生けるものへの慈悲が大事ですけども、その前にまずここにある自分の存在、苦しみであるこの一生をどうするかが中心的な問題です。ですから、キリスト教のことは今だったらいろいろ分かるような気がするんですけど、昔は全くピンとこなかったですね。その後、16歳の時に坐禅と出会いますが、すぐにはこうした疑問に対する答えは見つかりませんでした。ただ、最初の坐禅で衝撃的だったのは、体があるということに気付いたことです。それまではずっと体は脳を生かすための単なる道具にすぎない、それは車で言うなら車体で

あって、私という肝心な運転手は別にあるんだと思っていました。しかし、坐禅をすると自分が絶えず呼吸し心臓が動いているのに気付く。この体も私なんだという気がそこにありました。もうひとつは姿勢による意識の変化ですね。同じ1時間でも姿勢によって自分の心だけでなく、取り巻く世界の感じ方が全然違うことに気が付いたんです。この体を通して世界と繋がっているんだという実感をはじめて持てたんですね。

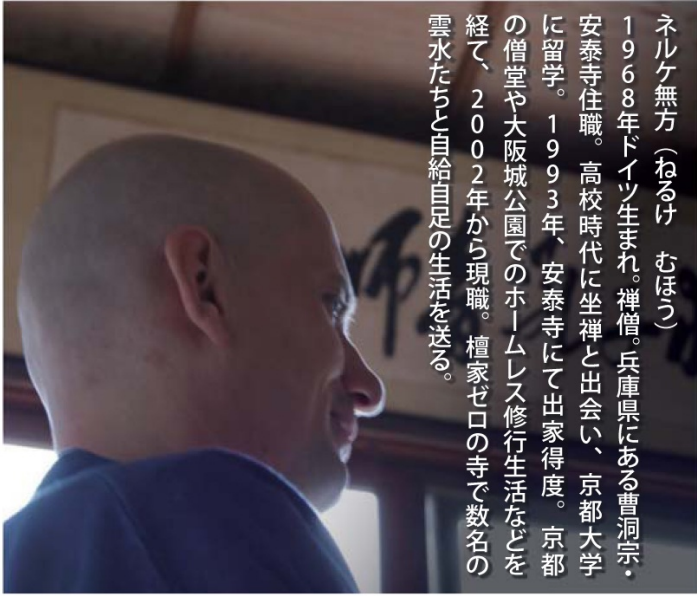
ネルケ師が直面した「生きる意味の喪失」は人間の知性に由来する問題の一つであろうが、社会学者アユルケムが『自殺論』の中で指摘しているように、社会における自由の高さに由来するものでもある。自由の牢獄とでも言うべきか、自由を享受できる環境のなかで自分の指針が見つからず生きづらさを感じる心について、ネルケ師はどう見ているのだろうか。

地域社会や家族が壊れかけていると最近よく言われています。絆が昔のようにしつかりしていない。昔はその分、自由がなかったですけどね。逆に今は絆が弱くなっているから自由といえば自由です。しかし、仏教で「生かされて生きる」と表現されるような、生かされているネットワークの中で生きているという実感が無いと思うんですね。私自身が子供の頃そうでした。お金に困ったこともないし自由でしたが、何のために生きるのか分からず、親父とか先生のような大人にはなりたくないだけ思っ

いたんですね。たとえそうなたたとしてもなりたくない。かといって他になりたいものがあるわけでもない。今の多くの若者も一緒でしょうね。結局はその答えを誰かに求めても仕方ありません。本人がそこをどんどん突きつめて、自分で模索して悩んで苦しんで、悩んでもいいんだという自信まで持つことでしょうね。そうするとその挙句に「あ、こういう生き方があるんだ」と気づく。釈尊は一切皆苦といえますね。ドイツ語で

ネルケ無方（ねるけ むほう）

1968年ドイツ生まれ。禅僧。兵庫県にある曹洞宗・安泰寺住職。高校時代に坐禅と出会い、京都大学に留学。1993年、安泰寺にて出家得度。京都の僧堂や大阪城公園でのホームレス修行生活などを経て、2002年から現職。檀家ゼロの寺で数名の雲水たちと自給自足の生活を送る。



は「Leben ist Leiden.」（生きることに即苦しむこと）と訳されています。すべてが苦しみなんだから苦しんだっていいはずなんです。そんなに楽しくみんなワイワイやらないといけないわけではない。誰もそう言ってくれなかつたけれど、初めて釈尊がそれを言ってくれた。どんなにいいことがあってもそれは苦しみだと、だったらこれでもいいんだということに逆にもものすごく楽になりましたね。

個人の自由が大切である、と私たちは言う。【個人】

の原語 individual には「これ以上分割できない」、「社会に対して、究極的な単位としてひとりである人間」（柳父章『翻訳語成立事情』）という思想的背景があり、それが社会構造やライフスタイルの変化に少なからず影響を及ぼしている。「無縁社会」や「個食」といった言葉はまさにその典型であろう。これに対し、ネルケ師の考える「生きる」とはいかなるものであろうか。

分からないですね。ただ、道元禅師の『現成公案』にある鳥と魚の話がヒントになるかもしれません。もし鳥が飛ぶ前に、飛ぶとはどういうことなのか、それを知らなければ飛ぶことができないじゃないかと言っていたら、いつまでたつてもその鳥は飛べない。魚も同じです。生きるとはそういうことだと思いませんか。生き方が分かつてから生きようと思つていていつまでたつても生きることはできない。気付いたらもう

自分は生きている、私は生きていこうと思わなくても、もうすでに生きている。普通は「私が生きる」と思うでしょう。若いころはそう思つていろいろと考えあぐねていましたが、そこを手放すとどんなことをやっていても「命が生きている」ことに気付かれます。こうしてしゃべっている時も、おのずと言葉が口から出ている。そう思わせている別の力があるんですね。生きる力、私を超えた力が働いている。その力が何であり何のために働いているのか、それがわからなくなつてきちんとこうして動いている。この力に任せることしか結局できないと思えますし、強いて言えば生きることは生きる力に自分を任せることだと思えます。もちろんそのためにはこの力に自分が支えられている、あるいは包まれているということを実感しないといけないですね。私の場合は坐禅を何年間かやって、初めてそういう体験がありました。私がそんなにがんばらなくても、たとえ私が悟りを手に入れなくなつたとしても、ちゃんと生きているんだと、生きる力に支えられてこの力に任せるだけで十分だと。

「無方」——この言葉の意味は、「私が自由になる」のではなく「私から自由になる」ということなのだよと、青い目の禅僧のとらわれのない笑顔と擦り切れた作務衣が語っていた。

取材・辻村優英

## フリースタイルな行者の「精進生活」

結婚について

日本の僧侶たちが結婚するようになった歴史はそう古くない。それまでも、仏教の荒唐は何度もあり破戒僧は跡を絶たなかったようだが明治時代に国家が「僧侶の肉食妻帯蓄髪は勝手たるべきこと」と官符を出してから後、今のように僧侶たちは肉食妻帯の俗人として堂々と生活し始めたそうである。しかしながら、出家者の妻帯。これは本来の出家者の姿とはほど遠いといつて良い。

私の場合、妻の実家のお寺を継ぐきっかけによって、出家をしたのだが、高野山で苾芻戒（びつすかい）という戒を受けた以上、自らの解釈の中で、僧侶の身分で結婚していることの言い訳はできない。

積尊は家族を捨て出家をされた。しかし今の私には幼い子を捨て、妻を捨てるなど、そんな哀しいことはできない。となれば、この様に愛を捨てられない執着に満ちた自分を猛省し、破戒僧は免れないと覚悟せねばならない。そんな俗的な形とはいえ、仏に仕えさせて頂いても良いだろうか？大乗仏教の実践は、菩薩としての利他行にこそある。だから、今は僧としての自分を実践させて頂きつつ、そして自分のあり方について、理想的な生き方について、目を背けず、生きていきたいと思っている。

え？大好きのお坊さん？そりゃー問題外でしょ？  
うーん。ナムナム。



小野剛賢 昭和51年3月17日 高野山真言宗 薬師院 副住職  
<http://www.eonet.ne.jp/~yakushi/> 高野山真言宗・薬師院HP  
<http://ajikan.blog.eonet.jp/default/> ブログ

## 京都の町家カフェから朝一坐禅レポート！

カフェで坐禅しませんか？ということでスタートした京都の町家カフェ moomooacate とフリスタのコラボ企画「朝一坐禅」は、早いもので9回目を迎えました。今回は6回以上参加して下さっている方に感想などをお伺いしてみました。

自ら「フリースタイルな僧侶」を名乗る淵上さん（在家さんです）は「普段意識しない音が聴こえる。このままずっと坐っていたい」と非日常的な体験を噛みしめておられました。劇団「オレと松本」のお二人に何うと、伊藤さんは「雑念ばかりが出てきて大変」と集中するこの難しさを、松本さんは「過去ではなく未来を見つめることができた」と自分を見つめるこの大切さを語っておられました。

感想を述べる参加者のみなさんに、ユーモアを交えて新しい気付きを与えて下さるのが杉若恵亮和尚（写真、濃黄色の袈裟の方）。

対機説法とはまさにこのこと。坐禅だけではなく、moomooacate の店主黒野さんが作るおいしい朝粥を食べて杉若和尚と親しくお話できるのがみなさん楽しみなようです。



## 10/29 大阪の薬師院で 土曜日 阿字観瞑想コン

東京で毎月行っている寺社好き男女の縁結び企画『寺社コン』ですが、10月に大阪（岸和田市）での出張版を行います。テーマは「阿字観瞑想」。真言宗に伝わる瞑想法で心を磨き、懇親会を行います。

同じ趣味の人が集まりますので、初対面でも毎回とても話しやすい会になっています。過去には2週間で付き合うようになった参加者や、1ヶ月で結婚が決まった夫婦などもあり、カップル誕生率が高いのも特徴です。お寺が好きな方は、是非参加してみませんか？

日時：2011年10月29日(土)  
集合：南海線岸和田駅 13時30分  
会費：4,000円(阿字観体験料込み)  
※交通費・その他諸費用は各自。懇親会は4000円前後

人気企画により、すでに女性参加者枠は埋まってしまいました。男性参加者のお申し込みをお待ちしています。

お申し込み、お問い合わせ：寺社コン  
(<http://jisyacon.com/>)

## 10/30 トークライブ 日曜日 宿坊でできる7つの修行 in 薬師院

宿坊研究会代表・堀内克彦&薬師院副住職・小野剛賢。ワンダーな旅人と、フリースタイルな行者。この最強ソートップによる宿坊トークライブを、薬師院にて行います。

テーマは「宿坊でできる7つの修行」。日本各地の宿坊を泊まり歩いた堀内克彦の体験をベースに、誰でもできるお寺の修業体験を紹介。そして魅惑の宿坊街・高野山の魅力について、たっぷりお話ししていきます。

さらに日本の代表的な宗派の修業体験には全て参加(あと、神道も。ついでに韓国のお寺でも)し、横へ横へとひたすら興味の幅を広げる堀内とは対照的に、深く深く真言宗の修行の道を歩み続ける小野がつっこみ担当。修行のエピソードや一日一食の精進生活なども語ります。

トークライブの前に、希望者には阿字観瞑想指導があります。こちらも参加されれば、トークライブへの期待度がさらに高まることでしょう。

日時：2011年10月30日(日)  
会場：薬師院(南海線岸和田駅から、徒歩10分)  
時間：14:00 阿字観瞑想会(定員20名)  
15:30 受付  
16:00 トークライブ(定員40名)  
18:00 座談会

料金：瞑想会 1,000～2,000円(フリスタ会員は500円)  
トークライブ 1,500円(フリスタ会員は500円)  
座談会・夕食 500円

お申し込み、お問い合わせ：薬師院  
(<http://www.eonet.ne.jp/~yakushi/>)

## 10/22 休日の朝に坐禅を組んで 11/20 すがすがしい1週間を迎えませんか? 朝一坐禅

街中のカフェで気軽に坐禅を組む新感覚イベント「朝一坐禅」。杉若恵亮和尚を講師にお迎えしてお届けします。坐禅の後は朝粥をいただきます。カフェでお寺ながらのひとときをお楽しみください。

日時：10月22日(土) 朝8:00～スタート  
11月20日(日) 朝8:00～スタート  
場所：mocomococafe  
京都市中京区間之町通丸太町下ル大津町665  
(烏丸丸太町を東へ進み1つ目の信号を「間之町通り」  
沿いに南へ下って2軒目)

参加費：1,000円(朝食代)  
※食後の食器のしまい方についての作法も体験いたしますので、マイ茶碗、マイ味噌汁茶碗、マイ箸、マイ布巾をご持参ください。

定員：16名 ※要予約・先着順  
(定員に達し次第締め切らせて頂きます)

予約連絡先：mocomococafe@hotmail.co.jp



## 10/15 東日本大震災支援イベント 土曜日

阪神大震災を経験した関西の人々は、日が経つとともに人々の意識が震災から薄れていくこと、でもまだまだ支援が必要なことを知っています。

復興に向けて、被災された方々が前向きに歩める環境作りを地元で形成していただくために、被災者に寄り添って活動しているボランティアグループと、檀家さんからの声を直接聞ける被災地の寺院からの情報を元に、必要な支援を長期的に行っていききたいとの思いから開催いたします。

日時：2011年10月15日(土) 14:00～17:00  
(12:00より屋台・特産物販売をいたします)  
会場：太融寺 本坊・西側境内  
住所：大阪市北区太融寺町3-7  
参加費：1,000円(粗品付・申込締切10月7日)  
(収益は、東日本大震災への支援寄付とさせていただきます)

【問合・申込】  
NPO法人アユス仏教国際協力ネットワーク 関西事務局  
〒532-0006 大阪市淀川区西三国2-12-43  
TEL: 090-9373-5891(担当 石田) FAX: 06-6391-4567  
E-mail: kansai@ayus.org

【主催】 関西から元気を届ける東日本復興支援実行委員会

【協力】 高野山真言宗 太融寺・大阪青少年教化協議会  
大阪府仏教青年会・大阪市仏教青年会  
出演者、ボランティアの皆様  
NPO法人アユス仏教国際協力ネットワーク関西事務局



## 編集後記

10月に入り涼しくなったが、いまだに蚊がやってくる。友人が蚊にたくさん刺されて足が赤く腫れあがっているのを見て、「かわいそう!」と思われたことのある読者は結構いらっしゃるのではないだろうか。

実は、こうした何気ない日常の出来事のおかげでこそ仏教が息づく場所があると私は思っている。ここに言う「かわいそう!」がまさにそれである。仏教でいう「慈悲」のうちの「悲」には「生きとし生けるものが苦しみから離れるようにと欲すること」という定義がある。私の専門であるタイ・ラマ14世の母国語チベット語では「ニンジェ」と言うが、まさに日常生活で「かわいそう!」と言う時に用いられる。

さて、赤く腫れあがった「足」が「大嫌いな人のものだ」と分かったとしたらどうだろうか。そう「分別」したとたん私たちの心は壁をつくり、素直に「かわいそう!」と思えなくなることは、ないだろうか。仏教では、こうした私的な感情に基づいた「分別」を取り除けという。

お盆やお彼岸くらいでしか現在では接することの少なくなった仏教だが、こういった素朴な姿をフリストアを通じてもっと広く知ってもらえたらうれしい。

今号から輪番編集長制導入ということで、代表の池口ではなく辻村が編集長を拝命した。フリストアメンバーや「朝一坐禅」「Ticket to Tibet」にご賛同・ご参加くださったっている方々がいらっしゃるの何と幸せなことか。この場を借りて心より感謝申し上げます。

(13号輪番編集長 辻村優英)

## 読者のみなさまからのお便りを紹介!

フリストアではみなさまのお便りを募集、紹介しています。今回は“facebook”に寄せられたコメントからのご紹介です。

葬式仏教とよく言われますが、私たち一般人がお坊さんの言葉を聞くことのできる機会は、本当に葬式くらいのもので、そうした中、若手のお坊さん方が、日本仏教の意義について自ら語っておられるのは、大変興味深かったです。

仏教は私たちの身の回りにあふれ、私たちの文化そのものと言ってもよいのに、一般的な感覚としては、今、なぜか隔たりに感じるような状況になっていて、大変残念に思います。信仰は、私たち一人一人の心の安定を助けてくれますし、自分の国、地域、土地や自然を大切にしたい気持ちを育ててくれる大切なものだと思います。皆様の活動に期待しています! R・Yさん(30代男性)

誌面に関するご意見、ご感想もお待ちしております。お気軽にお便りください。応募は郵送、FAX、電子メール、またWebサイトでも受け付けます。ご応募お待ちしております。

あて先：フリースタイルな僧侶たち 編集部  
〒600-8119 京都市下京区河原町通  
五条下ル本塩竈町 583-5  
kawaramachi place 1002 号室

FAX : 075-555-5730

Email : info@freemonk.net

Web : http://freemonk.net

## 協賛のご報告

本誌発行にあたり、ご支援いただいた皆様に厚く御礼を申し上げます。以下に法人サポーターの方々のお名前のみ掲載させていただきます。

- |                                |                        |
|--------------------------------|------------------------|
| 安心院 (京都府八幡市・浄土宗)               | 瑞聖寺 (東京都港区)            |
| 安楽寺 (京都府南丹市・浄土宗)               | 崇福寺 (滋賀県甲賀市・浄土宗)       |
| 石尾山弘法寺 (大阪府和泉市・真言宗)            | 大圓寺 (東京都目黒区・天台宗)       |
| 延命寺 (大阪府堺市・浄土宗)                | 臺鏡寺 (大阪府枚方市・浄土宗)       |
| 円融寺 (東京都目黒区・天台宗)               | 檀王法林寺 (京都府京都市左京区・浄土宗)  |
| 教仏寺 (京都府船井郡・浄土宗)               | 潮音寺 (東京都大島町・浄土宗)       |
| 窪之坊 (山梨県南巨摩郡)                  | 長壽院 (東京都台東区・浄土宗)       |
| 九品寺 (京都府京都市南区・浄土宗)             | 梅窓院 (東京都港区・浄土宗)        |
| 光照院 (東京都台東区・浄土宗)               | 宝泉寺 (愛知県津島市・浄土宗西山禅林寺派) |
| 光徳寺 (福岡県みやま市・浄土真宗本願寺派)         | 法善寺 (大阪府大阪市・浄土宗)       |
| 光明院・田中医院 (京都府京都市中京区・浄土宗西山禅林寺派) | 法然院 (京都府京都市左京区)        |
| 光明寺 (滋賀県草津市・真宗興正派)             | 法華寺 (京都府亀岡市・日蓮宗)       |
| 西明寺 (兵庫県尼崎市・浄土宗)               | 万行寺 (東京都東村山市・浄土真宗本願寺派) |
| 浄栄寺 (滋賀県東近江市・浄土宗)              | 無量光寺 (鳥取県鳥取市・浄土宗)      |
| 浄観寺 (滋賀県甲賀市・浄土宗)               | 薬師院 (大阪府岸和田市・真言宗)      |
| 浄元寺 (兵庫県伊丹市・浄土宗)               | 龍光寺 (和歌山県海草郡・日蓮宗)      |
| 性高院 (愛知県名古屋市中区・浄土宗)            | 株式会社 葉寿堂 (兵庫県神戸市)      |
| 正善寺 (兵庫県伊丹市・浄土宗)               | 株式会社 株式会社 (兵庫県姫路市)     |
| 勝楽寺 (東京都町田市・浄土宗)               |                        |
| 信覚寺 (福岡県朝倉郡・浄土真宗本願寺派)          |                        |
| 心光院 (東京都港区・浄土宗)                |                        |

※ 五十音順に表示しています。  
※ 協賛は随時受け付けています。



Mamaia  
**浜屋は  
 関西最大級の  
 お仏壇・お仏具・  
 墓石の専門店です。**

浜屋は個人情報保護の企業を示す  
 プライバシーマーク取得企業  
 です。

やすらぎの世界を創る



お仏事・お仏壇・お仏具・お墓・ギフトのご相談は  
 通話料無料 浜屋姫路本社フリーダイヤル  
 イロイロキョー  
**0120-1616-94**  
 ●受付時間/午前10時から午後7時まで

製造直売・関西最大級、30店舗の安心ネットワーク。お近くの浜屋へご来店下さい。

- |                                |                               |
|--------------------------------|-------------------------------|
| ■奈良王寺店/大和・王寺町 ☎(0745)31-2211代  | ■西宮店/171番・下大市 ☎(0798)51-2211代 |
| ■奈良生駒店/近鉄・生駒駅北 ☎(0743)83-2211代 | ■芦屋店/JR・山崎西 ☎(0797)35-1194代   |
| ■岸和田店/2国・西之内 ☎(072)445-2211代   | ■三田店/三田・対中町 ☎(079)559-2211代   |
| ■堺鳳店/第2・阪和沿 ☎(072)261-2211代    | ■神戸本店/元町・4丁目 ☎(078)371-2211代  |
| ■藤井寺店/近鉄・藤井寺 ☎(072)854-2211代   | ■新長田店/JR・新長田 ☎(078)621-2211代  |
| ■駒川店/中野・交差点 ☎(06)6709-2211代    | ■明石店/森友・交差点 ☎(078)927-2211代   |
| ■中興東大阪店/近鉄・西若田 ☎(06)6783-2211代 | ■加古川店/JR・駅南側 ☎(079)426-2211代  |
| ■環状川本店/石津・交差点 ☎(072)829-2211代  | ■高砂店/羽庭神楽・中興 ☎(079)443-2211代  |
| ■吹方家園店/長尾・家具町 ☎(072)836-2211代  | ■姫路本店/駅前・御幸通 ☎(079)282-2211代  |
| ■高槻店/高槻・紺屋町 ☎(072)683-2211代    | ■福崎店/福崎町・夜道 ☎(0790)22-2211代   |
| ■茨木店/茨木・大手町 ☎(072)622-2211代    | ■網干店/網干・浜国沿 ☎(079)272-2211代   |
| ■豊中店/豊中・郵便局横 ☎(06)6848-2211代   | ■龍野店/龍野・大橋東 ☎(0791)62-2235代   |
| ■川西店/川西・火打2 ☎(072)759-2201代    | ■赤穂店/赤穂・塩屋東 ☎(0791)45-2211代   |
| ■伊丹店/阪急・駅前西 ☎(072)775-2211代    | ■山崎店/穴栗・山崎町 ☎(0790)62-5171代   |
| ■尼崎店/阪神・駅南側 ☎(06)6413-2211代    | ■浜屋漆工芸姫路店・土山町 ☎(079)293-2211代 |

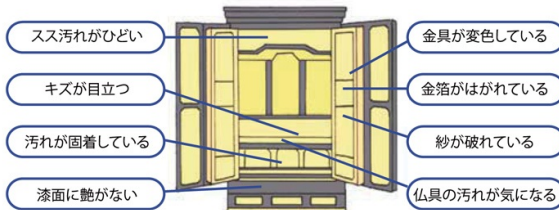
■本 社/姫路市南敵町2丁目31番地 TEL.079-288-2211(代)

お仏壇泡洗浄専門店

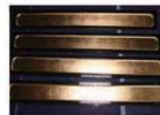
京都北白川 **一步堂** IppoDou



お仏壇を美しくするのは、ご先祖さま大切な亡き方への感謝の心です。  
 お宅さまのお仏壇、汚れてないか今一度見直してみませんか？



<泡洗浄>



<金箔泡洗浄>



<金箔補修>



<金具洗浄>



<屏修復>



<外屏磨き>

安価で仏壇仏具の修復のプロが昔の輝きに修復いたします

お仏壇の特許泡洗浄(株)マイクロンお仏壇本舗加盟店

京都北白川 **一步堂**

☎フリーコール 0120-929-666

詳しくは… [ 京都 仏壇 一步堂 ] で検索!



## サポーターズ・クラブ会員募集中!!

私たちの活動に共感し、  
 応援していただける方を大募集中!!

対象者 フリストアを応援していただける方  
 協賛年会費 5千円(個人)/3万円(法人)  
 ※サポーターズ・クラブの皆様には、年間6回発行予定の本誌をお届け  
 します。また、フリストア主催の各種イベントにおいて、優待いたします。  
 ※法人会員の皆様は、誌面にお名前を掲載させていただきます。

会費振込先:三井住友銀行 園田支店(422) 普通 5092943  
 フリースタイルな僧侶たち 代表 池口 龍法  
 ※お振込みいただく際には、あらかじめご連絡ください。

## 広告募集中!!

本誌「フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン」に広告を  
 出しませんか?

本誌は関西の寺院や仏具店をはじめ、カフェやスペイン料理店  
 まで、様々な場所に設置しています。設置箇所は現在も拡大中  
 (ホームページで確認できます)!

興味をもたれた方は一度、お問い合わせください。

《媒体情報》

仕様: A4 サイズ・8頁・カラー

発行部数: 10,000部 (2011年10月現在)

**お申し込み、お問い合わせは、フリースタイルな僧侶た  
 ち編集部(電話番号などは下記)まで。ホームページか  
 らもお申し込みいただけます。**

## フリストア事務所移転のお知らせ

10月1日より事務所が以下の場所に移転  
 いたしました。京都の中心部に事務所を構え、  
 フリストアは「場づくり」を推進していきます。

私たちの活動に興味を持たれた方は気軽に  
 お問い合わせください。

〒600-8119  
 京都市下京区河原町通五条  
 下ル本塩竈町 583-5  
**kawaramachi place**  
 1002 号室

tel&fax: 075-555-5730

e-mail: info@freemonk.net

アクセス:  
 京阪本線「清水五条」徒歩 5分  
 地下鉄烏丸線「五条」徒歩 9分



## フリースタイルな僧侶たちのフリーマガジン

平成 23 年 10 月 1 日発行 第 13 号

発行元 フリースタイルな僧侶たち 編集部

〒600-8119

京都市下京区河原町通五条下ル本塩竈町 583-5

kawaramachi place 1002 号室

tel&fax : 075-555-5730

e-mail : info@freemonk.net

http : //freemonk.net

※ 本誌のコンテンツを無断で転載することを固く禁じます。

題字

しらたきなべお

イラスト

悟東あすか

DTP&デザイン

bdt

輪番編集長

辻村優英

総指揮

池口龍法